

## 公示に関する質問回答書

## 令和8年度大台ヶ原自然再生に係る調査・検討業務

No	質問	回答
1	<p>●業務請負条件について</p> <p>業務請負条件に「自然再生事業（5年以上に亘るものに限る）」とありますが、5年以上、自然再生事業の策定、改定、点検或いは評価に従事した経験を求められているのではなく、5年以上に亘る自然再生事業の計画策定、改定、点検或いは評価に従事した経験が求められているという理解で良いでしょうか。</p>	<p>貴見のとおり、この項目は主たる担当者に対し、「自然再生事業への5年以上の従事経験」を求めているものではなく、「5年以上に亘って実施された自然再生事業」への従事経験を求めているものになります。</p>
2	<p>●6.1.1 植生タイプ別調査（1）毎木調査について</p> <p>図2に調査地点が示されていますが、これらは過年度の調査地点を示しているものであり、本業務においても同一地点で調査を実施する認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>貴見のとおり、図2にそれぞれ●、○、◎で示されている計14箇所は過年度のおおよその調査地点を示しており、本業務においても同一地点で調査を実施していただきます。</p>
3	<p>●6.2.1 糞粒法等によるニホンジカの生息状況調査（2）緊急対策地区隣接メッシュ①ササ稈高調査について</p> <p>・調査を行うコードラートは、2mの方形区でしょうか。</p> <p>・調査地点は、過年度に設置したコードラートで実施する認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>（2）緊急対策地区隣接メッシュ①ササ稈高調査については、（緊急対策地区で実施するような）既設2m×2mコードラート内での調査ではなく、（2）緊急対策地区隣接メッシュ②糞粒調査において11地点各110箇所設定しているコードラートの周囲に生育するササ類稈高の平均値を算出いただきます。</p>
4	<p>●6.2.2 および6.2.4について</p> <p>カメラの点検時期に12月頃が含まれていますが、閉山前に実施する認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>例年、最後のカメラ点検・データ回収は閉山後の12月上旬に実施いただいておりますが、積雪等の状況で実施困難が予想される場合は、環境省担当官と調整のうえ、より早い閉山前の実施もあり得ます。</p>
5	<p>●6.5 メッシュ調査</p> <p>（1）ササ類被度調査について</p> <p>・ササ類被度調査では、ササの種別ごとの被度の記録は必要でしょうか。</p> <p>（2）地表生蘚苔類被度調査について</p> <p>・蘚苔類被度調査では、蘚苔類まとめた被度を記録する認識でよろしいでしょうか。</p> <p>・調査は、6.4.3（1）と記載がありますが、これは（1）ササ類被度調査と同一メッシュを指す認識でよろしいでしょうか</p>	<p>・（1）ササ類被度調査では過年度調査にならない、大台ヶ原において主要なミヤコザサとスズタケの2種について、それぞれの被度を記録してください。</p> <p>・（2）蘚苔類被度調査では過年度調査にならない、蘚苔類全てをまとめた被度を記録してください。</p> <p>・（2）蘚苔類被度調査のメッシュについては、ご指摘のとおり仕様書の記載に誤りがあり、『6.4.3（1）』ではなく、正しくは『6.5（1）』のササ類被度調査と同一メッシュを指します。お詫びして訂正いたします。</p>